

横芝町新総合計画を 策定しました

町では、平成11年度より、21世紀のまちづくりの指針となる「横芝町新総合計画」の策定作業を進め、平成12年12月に同計画の基本構想が議決されました。これから、町民のみなさんへお配りするダイジェスト版を作成していきますが、今月号ではそれに先立ち、基本構想を中心に計画のあらましをお伝えしようと思えます。

◆ 計画の構成

「総合計画」や「基本構想」などの文字が出てきましたが、総合計画はこれからのまちづくりの方向と取り組んでいく施策をまとめたもので、町の最上位に位置する計画です。

そして、「横芝町新総合計画」は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3層構造となっています。

- ① 基本構想（平成13～22年度）
まちづくりの基本的な理念と将来像、及びこれを実現するために必要な施策の方向を定めたものです。
- ② 基本計画（前期：平成13～17年度、後期：平成18～22年度）
施策の方向に沿って取り組んでいく施策を体系的に明らかにしたものです。
- ③ 実施計画（向こう3か年）
基本計画に沿い、向こう3か年に実施する事業を予算の裏付けのもとに定めたものです。

◆ まちづくりの課題

これまでのまちづくりの経緯や時代の変化などを勘案し、これからのまちづくりの課題として次の6項目を考えました。

- ① 空港周辺地域としてのまちづくり
- ② 都市環境向上のまちづくり

- ③ 自然をいかした環境にやさしいまちづくり
- ④ 地域で支える少子・高齢社会のまちづくり
- ⑤ 新しい要素を取り込んだ農林漁業の振興
- ⑥ 個性発揮のまちづくり

◆ まちづくりの基本理念

これからのまちづくりにおいても、平成7年2月1日に制定した「横芝町民憲章」を町民の行動規範とするなかで、

交流と連携、人と自然の共生

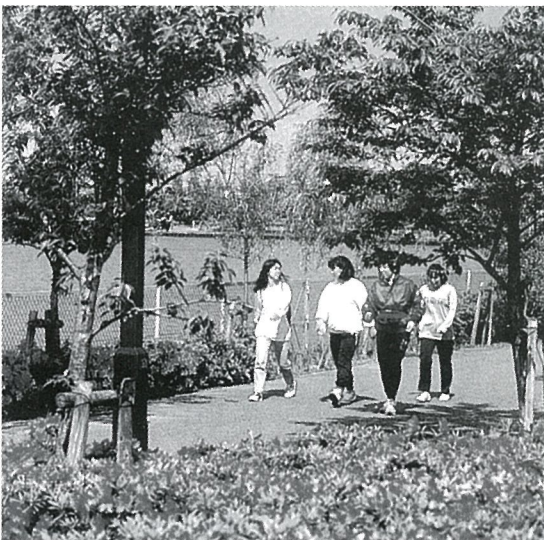
をまちづくりの基本理念とします。

① 交流と連携

人と人、地域と地域の交流と連携を高めることにより多様な出会いを育て、新しい知恵を生み出す地域をめざします。

② 人と自然の共生

人がともに支えあう地域社会づくりを進めるとともに、自然となごむことのできる共生の地域づくりを進めます。



◆ 将来像

まちづくりの基本理念のもと、21世紀初頭の町の姿を

健康と快適な暮らしの

公園交流のまち・横芝

とします。

美しい自然に囲まれた本町を一つの公園として捉え、交流条件の高まりに対応し、多様な出会いと新しい交流のなかから、明日の活力を生み出していくものとなります。

まちづくりのイメージカラーは、現在と同じペパーミントグリーンとします。

◆ まちづくりの目標

この将来像を実現するため、基本的な3つの目標を定めました。

- ① 水と緑豊かな快適な暮らしのまちづくり
「横芝らしさの地域づくり」「活力ある市街地開発」「安全、安心のまちづくり」をめざします。
- ② 生き生きと安心したくらしのまちづくり
「活力ある長寿社会の形成」「将来を担う人材の育成」「文化による個性と交流促進」をめざします。
- ③ 交流・連携による活力のまちづくり
「多様な機能配置と資源利用」「交流を促す交通基盤」「ふれあいのネットワーク」をめざします。

◆ 将来指標と土地利用

目標年次である平成22年の人口を2万人、世帯数を8千世帯と見込みます。

※問い合わせは、役場企画財政課 ☎82-8823へ。